



平成28年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年5月11日

上場会社名 株式会社ブロードバンドタワー 上場取引所 東  
 コード番号 3776 URL <http://www.bbtower.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 CEO (氏名) 藤原 洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 法務・経理統括 (氏名) 中川 美恵子 (TEL) 03-5202-4800  
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第3四半期の連結業績 (平成27年7月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第3四半期	25,766	9.1	448	△32.2	386	△41.7	△78	—
27年6月期第3四半期	23,621	18.9	662	21.7	662	17.8	161	△25.2

(注) 包括利益 28年6月期第3四半期 23百万円(△91.6%) 27年6月期第3四半期 277百万円( 9.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第3四半期	△1.55	—
27年6月期第3四半期	3.71	3.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年6月期第3四半期	16,738	8,155	44.4
27年6月期	15,776	7,764	45.1

(参考) 自己資本 28年6月期第3四半期 7,426百万円 27年6月期 7,117百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	1.00	—	1.00	2.00
28年6月期	—	1.00	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	1.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の連結業績予想 (平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,400	8.5	720	△6.4	660	△12.9	450	665.2	8.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 1社(社名) BBTOWER SAN DIEGO INC. 、除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年6月期3Q	51,894,000株	27年6月期	51,674,000株
28年6月期3Q	930,000株	27年6月期	2,830,000株
28年6月期3Q	50,604,730株	27年6月期3Q	43,492,887株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループが属する情報サービス産業においては、クラウドサービス市場の拡大やIoT、人工知能、ビッグデータ関連ビジネスに対する機運の高まり等、上向きの傾向にはあるものの、情報サービス産業間の競争は激しさを増しており、事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社を中心とするコンピュータプラットフォーム事業においては、データセンターサービスやクラウドサービスをはじめとする既存事業では営業活動を推進いたしました。IoT事業等の新規事業においては、昨年(平成27年)7月に海外拠点となる連結子会社BBTOWER SAN DIEGO INC.を設立したこと、同年12月に人工知能技術を活用したサービスを提供する株式会社エーアイスクエア(以下、エーアイスクエア)を設立したこと、また、平成28年2月には、国内外のIoTベンチャーの発掘・育成等を目的にグローバルIoTテクノロジーベンチャー株式会社を設立する等、新規事業の基盤整備を着実に推進してまいりました。一方、連結子会社である株式会社ビービーエフ(以下、ビービーエフ)及びその子会社を中心とするファッションビジネスプラットフォーム事業は、順調に売上げが推移いたしました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの概況は以下のとおりであります。

コンピュータプラットフォーム事業においては、データセンター、クラウド・ソリューション、データ・ソリューション、スマート・エネルギー、及びその他・海外事業に分け、サービスを展開しております。

データセンターでは、市場規模は堅調に拡大しているものの、当社は、昨年9月に第2サイトのサービスを終了したため、その影響を受けましたが、データセンターの売上げを増加させるために、引き続き既存顧客との関係強化や新規顧客獲得への営業活動を推進し、顧客ニーズに合ったサービスの提案、提供を行っております。

クラウド・ソリューションでは、市場規模の拡大を背景に当社独自のc9サービスは、概ね堅調に推移いたしました。また、ビッグデータの分析・活用ソリューションをクラウドで提供しているamazon web servicesへの対応に加え、Microsoft Azureへの対応としてAzureの導入前コンサルティングからシステム構築、運用監視までワンストップで対応する「Microsoft Azure構築・運用支援サービス」を開始いたしました。これにより、複数のクラウドサービスを適材適所に組み合わせた環境を提供することが可能となりました。また、資本・業務提携を締結している株式会社セキア(以下、セキア)とセキアが保有する監視カメラ運用などのセキュリティ技術と画像解析技術を活用したクラウド型のセキュリティサービスの提供を開始いたしました。今後もクラウド・ソリューションのラインアップを図り、運用管理の効率化に資するサービスを提供してまいります。

データ・ソリューションでは、増大しているデータを保存するニーズが高まっていることを受け、当社の主力プロダクトである米EMC社製の「Isilonシリーズ」の販売に引き続き注力いたしました。この他、SNS(ソーシャルネットワークワーキングサービス)等のユーザーが生成するコンテンツやビッグデータ等、データ量が増大傾向にあるため、これまで以上に大容量のデータを収容できるScality社のSDS(ソフトウェア・デファインド・ストレージ)製品を販売するとともに、本製品のパフォーマンスを最大化するインターコネクトソリューションの販売も開始いたしました。また、決済関連事業を行う当社子会社の株式会社Lyudia(以下、Lyudia)は、開発の遅れはあるものの、業績向上のための努力をしております。なお、Lyudiaは、平成28年4月に、フランスのIngenico Group S.A.に対し当社保有のLyudia株式を一部譲渡したため、第4四半期連結会計期間から、持分法適用関連会社へと変更となる予定です。

スマート・エネルギーでは、山口県防府市、群馬県利根郡みなかみ町において太陽光発電事業を行っており、売上げは堅調に推移いたしました。また、栃木県日光市において、当社3か所目となる太陽光発電所の設置を進めております。

その他・海外事業では、新規事業であるIoT事業は、当社の持分法適用関連会社である米国EverySense, Inc.と共同でサービスプラットフォームの開発を行っており、今後、データの収集、仲介、取引を行うサービスに繋げてまいります。アンカーパーソン.TV事業は、クオリティの高い動画を制作・配信するためのサテライトスタジオをオープンさせるとともに、コンテンツの拡充を図っております。また、当社子会社の株式会社エーアイスクエアでは音声認識技術を活用し、コールセンター業務の効率化につながるサービスを提供するための基盤整備を進めております。

この結果、コンピュータプラットフォーム事業の売上高は5,340百万円(前年同四半期比6.3%減少)、営業損失は新規事業への先行投資、Lyudiaの開発遅れの影響等により237百万円(前年同四半期は129百万円の営業利益)とな

りました。

一方、ファッションビジネスプラットフォーム事業においては、ビービーエフが行うECシステム構築支援・運用サービス、TVショッピング支援サービス及びブランチ・アウトが行うファッションホールセールサービスを主軸とした事業を展開しております。

ECシステム構築支援・運用サービスでは、ブランドオフィシャルECサイト制作から受発注システム構築・運用、倉庫業務、商品配送業務まで、インターネット、携帯、スマートフォンを活用した通信販売に必要となるプラットフォームを一括して提供しております。大手既存ブランドの売り上げが拡大したことにより、業績は順調に推移いたしました。なお、本年3月末時点におけるサイト数は85サイトとなりました。

TVショッピング支援サービスでは、株式会社QVCジャパンを中心とするTV通信販売会社とファッションメーカーとを繋ぎ、商品企画、在庫・生産管理から販売に至るまでを支援することを可能としております。新規ブランドの立ち上げを着実に実施し、売り上げは堅調に推移しました。

ファッションホールセールサービスでは、ブランチ・アウトが大手小売店に対し、衣料品の販売・企画・デザイン・製造・生産管理を一貫して行っております。夏物、冬物は天候不順や暖冬の影響を受けたものの、大手小売店向けの商品企画、販促企画が奏功し、売り上げは堅調に推移いたしました。

この結果、ファッションビジネスプラットフォーム事業の売上高は20,426百万円（前年同四半期比14.0%増加）、営業利益は681百万円（同28.8%増加）となりました。

以上の活動により、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は25,766百万円（前年同四半期比9.1%増加）となりました。営業利益は新規事業への先行投資等もあり448百万円（同32.2%減少）、経常利益は386百万円（同41.7%減少）となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は78百万円（前年同四半期は161百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、売り上げの増加に伴う受取手形及び売掛金の増加、新規事業等に関する投資有価証券の増加等により前連結会計年度末に比べ962百万円増加し、16,738百万円となりました。

負債合計は、買掛金や未払金の増加等により前連結会計年度末に比べ570百万円増加し8,582百万円となりました。

純資産合計は、新株予約権の行使による自己株式の減少、非支配株主持分の増加により、前連結会計年度末に比べ391百万円増加し、8,155百万円となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日公表いたしました「特別利益（関係会社株式売却益）の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(特定子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、IoT事業の海外拠点として米国カリフォルニア州サンディエゴに設立したBBTOWER SAN DIEGO INC.を連結の範囲に含めております。

(特定子会社以外の子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、人工知能を活用したサービスの提供を目的に設立した株式会社エーアイスクエアを連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間において、国内外のIoTベンチャーの発掘・育成等を目的に設立したグローバルIoTテクノロジーベンチャーズ株式会社を連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額  
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い  
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定  
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方  
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更  
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、  
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び  
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取り扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首  
時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,006,605	4,494,742
受取手形及び売掛金	3,294,795	4,161,598
有価証券	2,099,910	1,499,980
商品及び製品	728,078	1,149,642
その他	439,284	499,030
貸倒引当金	△4,444	△5,678
流動資産合計	11,564,229	11,799,316
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	497,787	589,217
機械及び装置(純額)	794,433	853,435
工具、器具及び備品(純額)	297,676	283,004
土地	1,078	1,078
リース資産(純額)	368,021	348,955
建設仮勘定	33,150	206,700
有形固定資産合計	1,992,147	2,282,392
無形固定資産		
のれん	594,834	405,480
その他	245,793	254,275
無形固定資産合計	840,627	659,756
投資その他の資産		
その他	1,386,755	2,004,457
貸倒引当金	△7,176	△7,176
投資その他の資産合計	1,379,579	1,997,281
固定資産合計	4,212,354	4,939,430
資産合計	15,776,584	16,738,746

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,691,638	3,448,809
1年内返済予定の長期借入金	1,044,330	988,330
未払法人税等	172,625	113,831
賞与引当金	81,826	91,886
役員賞与引当金	2,380	—
返品調整引当金	6,412	742
資産除去債務	20,988	—
その他	1,255,468	1,754,584
流動負債合計	5,275,669	6,398,184
固定負債		
長期借入金	1,698,006	1,339,342
役員退職慰労引当金	185,000	—
退職給付に係る負債	29,311	33,492
資産除去債務	470,758	477,046
その他	353,741	334,732
固定負債合計	2,736,817	2,184,613
負債合計	8,012,487	8,582,797
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,346,403	2,361,424
資本剰余金	2,487,518	2,485,681
利益剰余金	3,069,241	2,891,124
自己株式	△790,246	△259,690
株主資本合計	7,112,916	7,478,541
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	958	△6,360
為替換算調整勘定	3,144	△46,162
その他の包括利益累計額合計	4,103	△52,522
新株予約権	25,963	13,345
非支配株主持分	621,113	716,585
純資産合計	7,764,097	8,155,949
負債純資産合計	15,776,584	16,738,746



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)
売上高	23,621,768	25,766,504
売上原価	19,668,135	21,401,511
売上総利益	3,953,633	4,364,993
販売費及び一般管理費	3,291,132	3,916,143
営業利益	662,500	448,849
営業外収益		
受取利息	3,647	6,730
受取配当金	180	199
受取補償金	—	20,331
その他	59,376	6,681
営業外収益合計	63,204	33,943
営業外費用		
支払利息	29,682	28,514
持分法による投資損失	—	33,626
為替差損	2,390	21,424
その他	30,826	12,939
営業外費用合計	62,899	96,505
経常利益	662,806	386,287
税金等調整前四半期純利益	662,806	386,287
法人税、住民税及び事業税	295,113	237,363
法人税等調整額	93,597	65,601
法人税等合計	388,711	302,965
四半期純利益	274,094	83,322
非支配株主に帰属する四半期純利益	112,778	161,728
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	161,316	△78,405

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成27年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益	274,094	83,322
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	△7,658
為替換算調整勘定	3,109	△51,681
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△626
その他の包括利益合計	3,087	△59,966
四半期包括利益	277,182	23,355
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	163,117	△135,031
非支配株主に係る四半期包括利益	114,064	158,387

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンピュータブ ラットフォーム 事業	ファッションビ ジネスプラット フォーム事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	5,697,139	17,924,629	23,621,768	—	23,621,768
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,258	2,023	16,282	△16,282	—
計	5,711,397	17,926,653	23,638,051	△16,282	23,621,768
セグメント利益	129,654	528,994	658,648	3,851	662,500

(注) 1 セグメント利益の調整額3,851千円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンピュータブ ラットフォーム 事業	ファッションビ ジネスプラット フォーム事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	5,340,292	20,426,212	25,766,504	—	25,766,504
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,324	3,592	21,916	△21,916	—
計	5,358,616	20,429,804	25,788,420	△21,916	25,766,504
セグメント利益又は損失 (△)	△237,159	681,241	444,081	4,768	448,849

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額4,768千円は、セグメント間取引消去額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当社グループは、生産に該当する事項がないため、生産実績に関する記載はしていません。

## ② 受注実績

当社グループは、受注生産を行っていませんので、受注実績に関する記載はしていません。

## ③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)	前年同期比(%)
	金額(千円)	
コンピュータプラットフォーム事業	5,340,292	△6.3
ファッションビジネスプラットフォーム事業	20,426,212	+14.0
合計	25,766,504	+9.1

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

## 2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成27年3月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成28年3月31日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社しまむら	2,984,191	12.6	3,977,852	15.4
株式会社QVCジャパン	2,988,494	12.7	2,709,651	10.5
ヤフー株式会社	2,625,796	11.1	2,461,723	9.6

## 3 上記金額には、消費税等は含まれておりません。